

カセットプレーヤー

取扱説明書・保証書

Operating Instructions/

お買い上げいただきありがとうございます

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

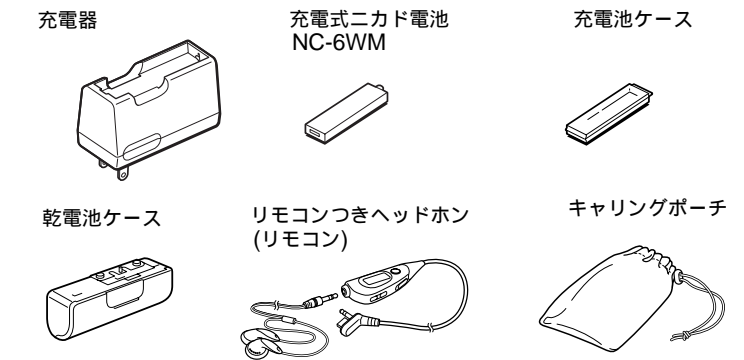
WM-EX900 WALKMAN

Sony Corporation ©1999 Printed in Japan この説明書は再生紙を使用しています。

主な特長

- テープに合わせて選べる3種類の音質、REVIVE、MEGA BASS、GROOVE。
- 充電式電池と乾電池の併用で約78時間再生ができる、スタミナタイプ。
- 3.6倍速の高速サーチで、前後9曲の頭出しをするAMS。
- お気に入りの曲を繰り返し聞ける1曲リピート。
- 新型バックライト付き液晶リモコン。

付属品を確認する



取扱説明書・保証書 ソニーご相談窓口のご案内

安全のために

危険

- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電電池ケースに入れてください。ケースに入らずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の+・- がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケースはコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+・-、または乾電池ケースの端子が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

リモコンつきヘッドホンについて
付属のリモコンに別売りのヘッドホンを接続する場合は、ステレオミニプラグのものをお使いください。マイクロプラグのものは使えません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェック
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
部品の保有期間について
当社ではカセットプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサ・ビス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

準備する

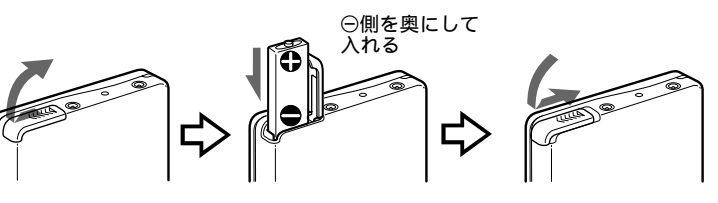
お買い上げ時には、充電式電池をまず充電してください。

1 充電式電池を充電する



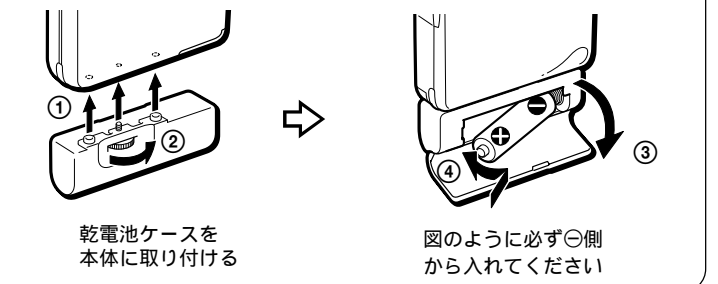
充電式電池は約300回充電できます。

2 充電式電池を入れる

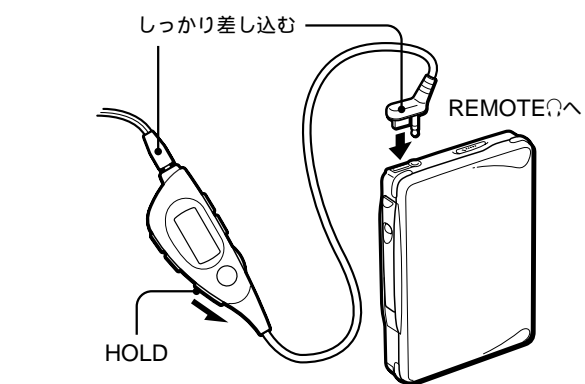


乾電池で使うときは

別売りの単3形ニッケルカリ乾電池(1本)を入れます。充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。



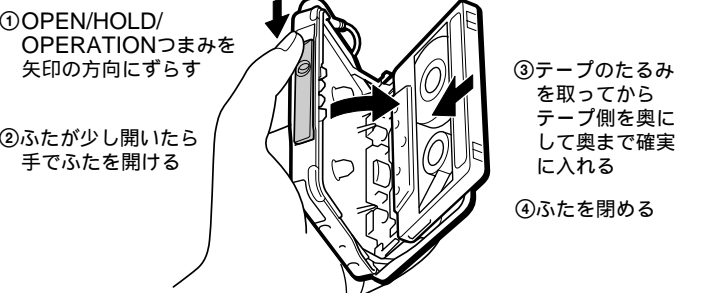
3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する



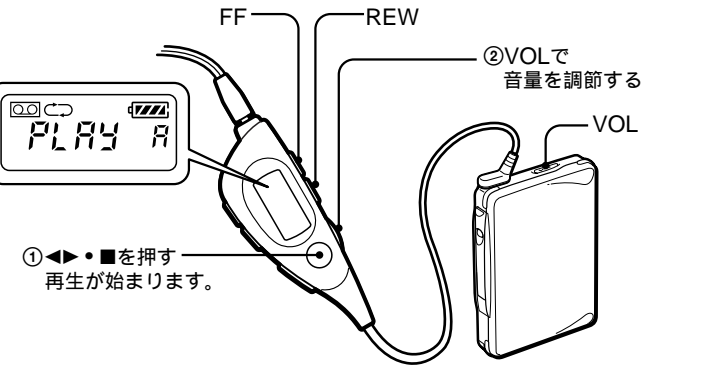
テープを聞く

TYPE I (ノーマル)、TYPE II (ハイポジション)、TYPE IV (メタル)のテープを自動的に判別し、再生します(オートテープセレクト機能)。

1 カセットを入れる



2 再生する(リモコンで操作する)



音量調節について
本体のVOLつまみは、AVLS MIN、NORM、MAXの3段階に調節できます。通常はNORM(標準)の位置に合わせ、微調整はリモコンのVOLつまみを回して行ってください。なお、音量を完全にしぼり切ることはできません。録音レベルが小さいテープを聞くときはMAX(音量大)にします。また、AVLS MIN(音量小)にするとAVLSが働きます。詳しくは「音もれを抑え耳にやさしい音にする」をご覧ください。
ヘッドホンの正しい装着方法
耳にぴったり合わないときや、音のバランスが不自然なときは、おさまりのいい位置に調節してください。

その他のテープ操作

操作	押すボタン	動作の確認音(リモコン表示)
再生面の切り換え	再生中に◀▶■を1秒以上	A面スタート ビ("A") B面スタート ビビ("B")
停止	再生中に◀▶■を1回	ビ
早送り*	停止中にFF	ビ ("FF" が点灯)
巻き戻し*	停止中にREW	ビ("REW" が点灯)
聞いている曲を繰り返し再生	再生中に◀▶■をすばやく2回(解除するには1回押す)	ビビビ("REP"点灯) 巻戻し中はビビビを繰り返し再生(1曲リピート) ("REP"点滅)
早送りして反対面を再生(スキップリバー)	停止中にFFを1秒以上	ビ ビ ビ、... ("FF" が点滅)
巻き戻して最初から再生(オートプレイ)	停止中にREWを1秒以上	ビ ビ ビビ、ビビ、... ("REW" が点滅)
*早送り、巻き戻し中に◀▶■ボタンを押すと再生状態になります。		

上記以外のテープ操作は、「テープを聞く - 応用」をご覧ください。

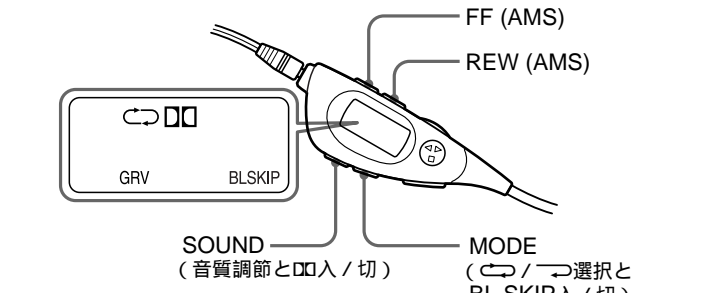
! カセットぶたを開けるときは、テープが停止していることを確認してください。動作中にカセットぶたを開けるとテープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。

▶テープを聞く - 応用

テープを聞くときのご注意

A、B面の判別について
本機はカセットのA面にある凹部を利用して判別をしています。A、B面を正しく判別できるのは、A面だけに凹部があるカセットのみです。

いろいろな聞きかたをする



□ 好きな曲を頭出しする

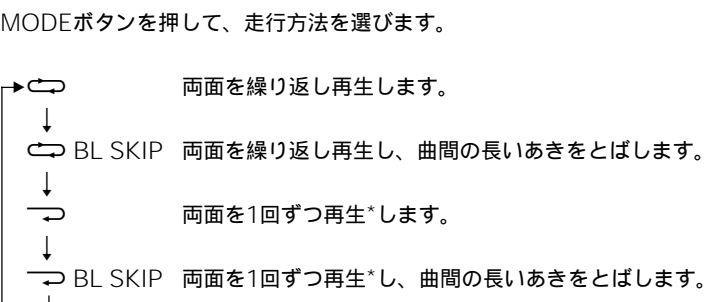
(AMS—オートミュージックセンサー)
再生中にFFまたはREWを、とばしたい曲の数だけ押します。最大9曲までとばすことができます。

操作	押すボタン	動作の確認音
早送りして何曲か先の曲を再生	再生中にFFを	ビ あと1曲になるとビビビ、...
巻き戻して何曲か前の曲を再生	再生中にREWを	ビ あと1曲になるとビビビビ、...

AMS、1曲リピートが正しく動作しないことがあります。
•AMSや1曲リピート機能では曲間の4秒以上のあき(無音部分)を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後にボタンを押したときは、頭出しができないことがあります。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。
•AMSや1曲リピート中に頭出しができないことがあります。故障ではありません。詳しくは「故障かな?」をご覧ください。

□ テープ走行のしかたを選ぶ

(テープの走行方法とブランクスキップ)
テープの走行方法(◀ または ▶)と、ブランクスキップ機能の入切ができます。ブランクスキップ機能が働いているときは(「BL SKIP」点灯)、曲間の長いあきをとばして次の曲の頭出しをします。



MODEボタンを押して、走行方法を選びます。
*B面から始めたときは、B面のみを再生します。
ブランクスキップが正しく動作しないことがあります
•ブランクスキップでは曲間に12秒以上のあきを見つげると、早送りして次の曲を再生しています。録音した機器によっては曲間のあきが完全な無音部分にならないために、ブランクスキップが動作しないことがあります。また、小さい音が長く続く部分があると、曲の途中で早送りすることがあります。その場合には、MODEボタンを押し、ブランクスキップを解除してください。
•ブランクスキップ中に、無音部分で再生を始めることがあります。故障ではありません。詳しくは「故障かな?」をご覧ください。

□ ドルビー* B NRで録音したテープを聞く

00マークが点灯するまでSOUNDボタンを押したままにします。録音の特性にあわせて再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音したテープの場合には00が点灯するまでSOUNDボタンを押したままにします。

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラボトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及ダブルD記号00はドルビーラボトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

□ 好みの音に調節する

SOUNDボタンを繰り返し押します。押すごとに表示が次のように切り換わります。

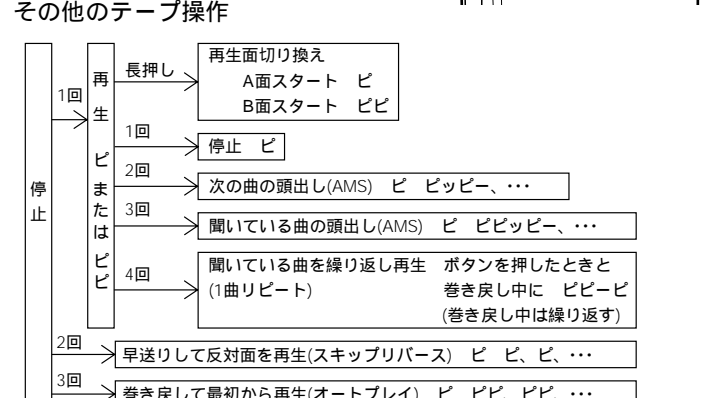
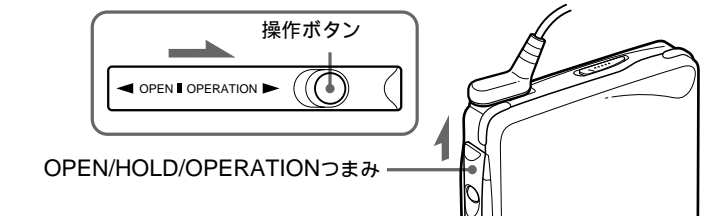
表示	音質
表示なし	通常の音質
RV	REVIVE(リバイブ): 高音を強調(古いテープなど高音にメリハリがないテープを再生するとき)
MB	MEGA BASS(メガベース): 低音を強調
GRV	GRV(グループ): 低音をより強調

GRVにしたときに音がずんざんように聞こえる曲では、本体の音量を下げるか、他の音質を選んでお聞きください。

テープ走行方法、ブランクスキップ、ドルビーB NR、SOUNDの設定は電池を交換するまで記憶されています。電池を交換すると解除されます。

本体で操作する

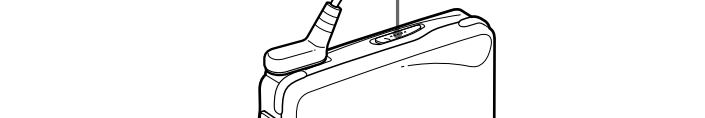
本体の操作ボタンを使ってテープ操作ができます。操作ボタンが隠れているとき(ホールド状態)は、OPEN/HOLD/OPERATIONつまみを「OPERATION▶」の方向にずらし、ホールドを解除します。テープを再生するには操作ボタンを1回押してください。



- 長押しは1秒以上押ししてください。
- 一度に複数回押すときは間をあけて等間隔で押してください。
- ボタンを押した回数の確認音のあと、上記の音が鳴ります。

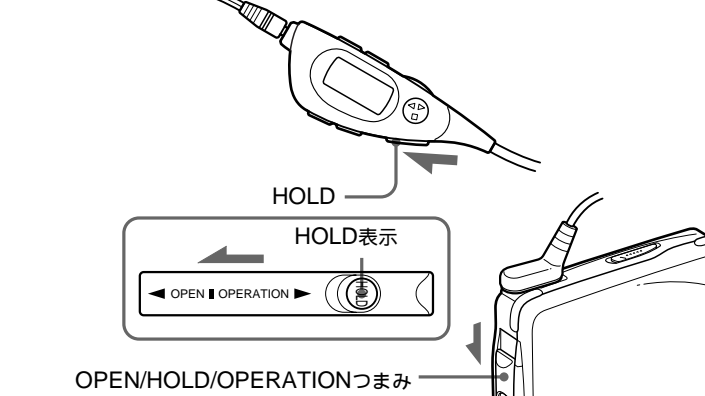
ご注意
•テープの走行状態がわからなくなってしまったときは、操作ボタンを1回押してください。再生に戻ります。

音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS - オート・ボリューム・リミッター・システム - 快適音量)



本体のVOLつまみをAVLS MINに合わせます。AVLSを解除するには本体のVOLつまみをNORM(標準)またはMAX(音量大)に合わせます。

誤操作を防ぐ(ホールド機能)



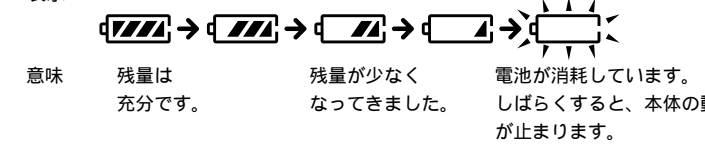
リモコンではHOLDスイッチを矢印の方向にずらしてリモコンの誤操作を防ぎます。本体では、OPEN/HOLD/OPERATIONつまみを矢印の方向にずらして、本体の誤操作を防ぎます。

▶電源

乾電池・充電式電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、リモコンのお知らせ表示が点滅します。テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなったり、自動的にテープは停止します。乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電し直してください。乾電池は、ニッケルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電池の残量がなくなると、リモコンの表示でお知らせします(電池交換お知らせ機能)



意味 残量は充分です。 残量が少なくなってきました。 電池が消耗しています。しばらくすると、本体の動作が止まります。

ご注意
•100%充電されていない充電式電池を入れても、残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量(充電時間)が少なければ、持続時間は短くなります。
•早送りや巻き戻し中、または極端に温度が低い場所で使用しているときは、残量が少なくなることがあります。

電池の持続時間	テープ再生時
使用電池	
充電式ニカド電池NC-6WM (100%充電にて)	約18時間
ニッケルカリ乾電池LR6 (WM)	約60時間
充電式ニカド電池とニッケルカリ乾電池の併用	約78時間

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。(ソニーHFシリーズカセットテープ使用)

ご注意
•電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。
•マンガン乾電池や消耗した乾電池・充電式電池でご利用になると、ブランクスキップ、AMSや1曲リピートが正しく動作しない場合があります。新しいアルカリ乾電池に交換するか、充電式電池を充電してください。

▶その他

使用上のご注意

- 充電について
- 付属の充電器では指定の電池以外は充電しないでください。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- 充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。

日本国内での充電式電池の廃棄について

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。Ni-Cd この製品は、ニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にシロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

海外での充電式電池の廃棄について
各国での法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っばらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60 以上)
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めかけた自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ(40 以上)や低いところ(0 以下)では液晶表示が見えなくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになります。常温になればもとに戻ります。
- 長い間本機を使わなかったときは、1度本機を数分間再生状態にしてお使い始めください。
- 動作中はカセットぶたを開けなくてください。テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。テープがたるんでしまったときは、必ずたるみを取ってから使用してください。
- 長時間テープについて90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみ走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返ししないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌にかわないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。

ヘッドホンについて

• 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎても周りの人の迷惑にならないようご注意ください。雑音の多いところでは音量を上げても音がちがいますが、ヘッドホンで聞くときはいつでも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングカセット(CHK-1W)でヘッド、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングカセットは指定のものをお使いください

他のクリーニングカセットを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは

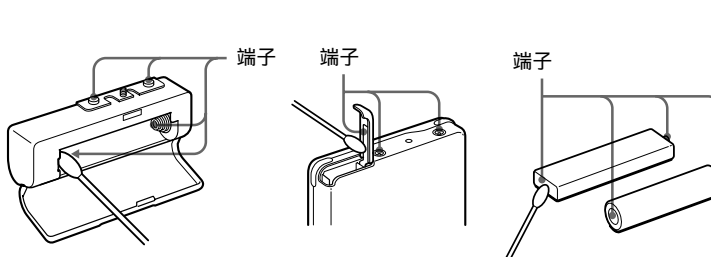
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れについて

常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音の原因になることがあります。

端子のお手入れについて

定期的に関の各端子や充電器などの端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。



主な仕様

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲(EIAJ*)	DOLBY NR OFF時 30 - 18,000 Hz (EIAJ*)
出力端子	ヘッドホンジャック(専用リモコンジャック)1個 <p>負荷インピーダンス 8 - 300</p>
実用最大出力(DC時)	4 mW + 4 mW (EIAJ 16)
電源	DC 1.5 V
充電式電池(付属)	NC-6WM、1.2 V、600 mAh、Ni-Cd)、単3形乾電池 1個
電池持続時間(EIAJ)	乾電池、充電式電池の持続時間については「電源」をご覧ください。
最大外形寸法	約77.7 x 108.0 x 19.6 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	本体 約140 g <p>ご使用時 約 205g (充電式電池NC-6WM、テープ C-60HF含む)</p>

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリ
充電式ニカド電池 NC-6WM、クリーニングカセット CHK-1W、ステレオイヤークレシーパー(ヘッドホン)* MDR-ED238SP (GROOVE対応)、MDR-E888SP、MDR-EX70SL

*ヘッドホンは、本体のREMOTEOJACKに直接つなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものをお求めください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

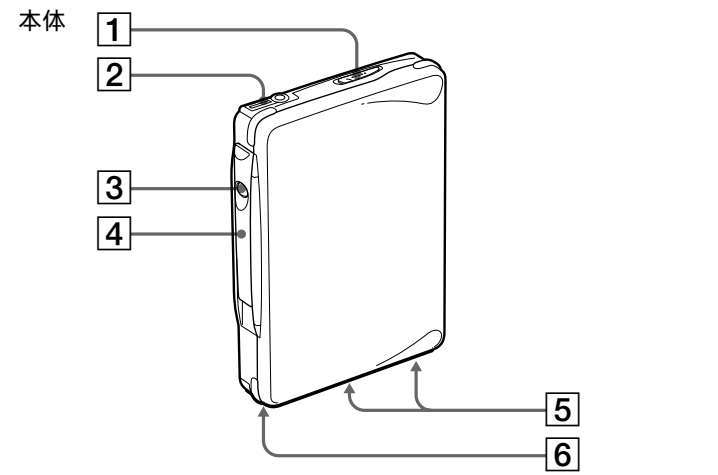
症状	原因	処置
ブランクスキップ、AMS、1曲リピートが正しく動作しない	消耗した充電式電池または乾電池を使っている。マンガン乾電池を使っている。(ブランクスキップやAMSなどは再生と比べて電流を多く消費し、電圧が低下するためです。)	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニールカリ乾電池と交換する。
「ビビビ」とエラー音が鳴り、操作できない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニールカリ乾電池と交換する。
操作できない	ホールド機能が働いている。電池が消耗している。	ホールドを解除する。充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニールカリ乾電池と交換する。

「ビビビビビビ」と鳴り、テープ操作ができない

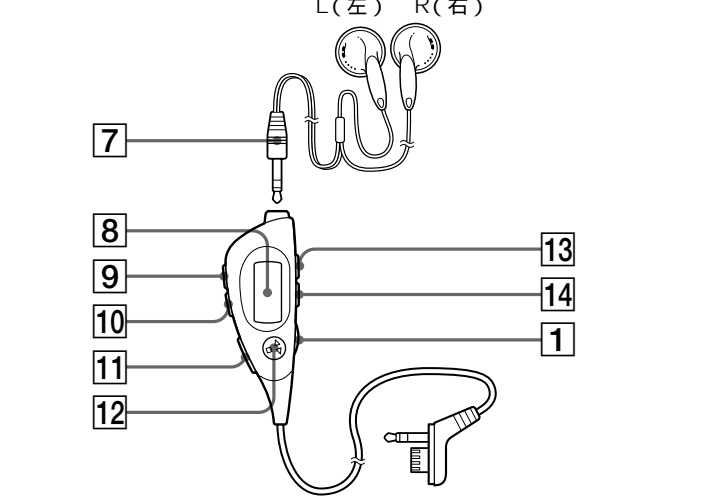
雑音が入る

テープ再生中に勝手に早送りになる	ブランクスキップが働いている。	ブランクスキップを解除する(「いるいな聞きかたをする」参照)。
リモコンで操作しても音量が大きくならない	AVLSが働いている。	本体のVOLつまみをNORMまたはMAXの位置に合わせる。
音が途切れる雑音がある	ヘッドホンのプラグが汚れている。電池が消耗している。	ヘッドホンのステレオミニプラグおよびリモコンのプラグをきれいにクリーニングする。充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニールカリ乾電池と交換する。
動作や表示がおかしい	—————	いったん電源・電池をはずして15秒以上たってから入れなおす。

各部のなまえ



リモコンつきヘッドホン



- ^{ボリューム} VOL(音量調節)つまみ
- ^{リモート} REMOTE(ヘッドホン、リモコン)ジャック
- 操作ボタン

- ご注意

OPEN/HOLD/OPEATIONつまみを操作ボタンにあわせているときのみ使えます。
- ^{オープン} OPEN/HOLD/OPERATIONつまみ
- 乾電池ケース用端子
- 充電式電池入れ
- ステレオミニプラグ
- 液晶表示窓*
- ^{サウンド} SOUND (音質調節・ドルビーB NR入/切)ボタン
- MODE (テープ走行方法・ブランクスキップ選択)ボタン
- ^{ホールド} HOLD(誤操作防止)スイッチ
- ◀▶(再生) ■(停止)ボタン
- FF(早送り)ボタン
- REW(巻き戻し)ボタン

*液晶バックライトについて

リモコン操作時、本体操作時、電池残量表示が変化したときなどに、自動的に約5秒間点灯します。

Sony **on** line http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客様相談センターへ <ul style="list-style-type: none">ナビダイヤル…………… 0570-00-3311 <p>(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)</p> 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311 Fax ……………… 0466-31-2595	受付時間： <p>月～金 9:00～20:00</p> <p>土・日・祝日 9:00～17:00</p>

English

▶Getting Started

Choosing a Power Source

Dry Battery

Attach the supplied battery case, and then insert one R6 (size AA) battery with correct polarity. Be sure to insert it from the ● side as illustrated.

Note

- For maximum performance we recommend that you use a Sony HF series cassette tape)

Note

- The battery life may shorten depending on the operation of the unit.

Rechargeable Battery

- Insert the supplied rechargeable battery NC-6WM into the charger with correct polarity.
- Plug in the charger to the house current (mains). Full charging takes about 3 hours.
- Insert the fully charged battery into the rechargeable battery compartment.

You can charge the battery about 300 times.

Note

- Certain countries may regulate disposal of battery used to power this product. Please consult your local authority.

When to replace/charge the battery

The battery remainder mark has 5 steps to show the remaining battery power.

When the battery is exhausted, tape playback will become unstable and noisy, and then the tape will stop. Replace or charge the battery when “□” flashes in the display.

Display	Condition
▬▬▬▬▬	There is enough battery power.
▬▬▬▬▬	
▬▬▬▬▬	The battery power is decreasing.
▬▬▬▬▬	
▬▬▬▬▬	
▬▬▬▬▬	The battery is exhausted. Replace it with a new battery.

Notes

- When you insert a charged battery, the battery remainder mark may show “▬▬▬▬▬” even if it is not fully charged. But the actual battery life will be shorter.
- The battery remainder mark may temporarily show a lower level during fast forwarding or rewinding or use in extremely low temperatures.

Note on the cassette holder

- When opening the cassette holder, make sure the tape is stopped, then slide the OPEN/HOLD/OPERATION switch. If the cassette holder is opened when the tape is running, the tape may loosen and be damaged.

Operation on the remote control	
To	Press (display)
Tape playback	
Play the other side	◀▶ ■ for more than a second during playback (“A” or “B” appears according to the playing side)
Stop playback	◀▶ ■ once during playback
Fast forward*	FF during stop (“FF” appears)
Rewind*	REW during stop (“REW” appears)
Repeat the current track (Repeat Single Track function)	◀▶ ■ twice during playback <p>To stop a single repeat, press ◀▶ ■ once</p>
Play the next track/ succeeding 9 tracks from the beginning (AMS*)	FF once/for the number of tracks to be skipped during playback (“AMS” and the number of tracks to be skipped appear)
Play the current track/previous 8 tracks from the beginning (AMS*)	REW once/for the number of tracks to be skipped during playback (“AMS” and the number of tracks to be skipped appear)
Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	FF for more than a second during stop (“FF” flashes)
Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	REW for more than a second during stop (“REW” flashes)
	* If ◀▶ ■ on the remote control is pressed during fast forward or rewind, the Walkman switches to playback.
	**Automatic Music Sensor
Operation on the main unit	
You can operate the tape with the operation button on the main unit. If the operation button is hidden (i.e., on hold), slide OPEN/HOLD/OPERATION in the direction of “OPERATION▶” to release hold.	
To	Press the operation button (beeps in the earphones)
Play back	Once
Play the other side	For more than a second during playback (Switching to side A: One short beep/ Switching to side B: two short beeps)
Stop playback	Once (One short beep)
Play the next track from the beginning (AMS*)	Twice during playback (One short beep, then repeated sets of a short beep and a long beep)
Play the current track from the beginning (AMS*)	Three times during playback (One short beep, then repeated sets of two short beeps and a long beep)
Repeat the current track (Repeat Single Track function)	Four times during playback (Repeated sets of a short beep, a long beep and a short beep when rewinding)

(continued)

Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	Twice during stop (One short beep, then repeated single beeps)
Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	Three times during stop (One short beep, then repeated sets of two short beeps)

* Automatic Music Sensor

Note

- When you are not sure of the playback status, press the operation button once. The Walkman will return to normal playback (except when you have pressed the operation button during normal playback).

Note on side A/B detection

- This Walkman detects the side being played using the cavity on side A of the cassette. If there is no cavity on the cassette or the cavity is on side B, the detection will not be done correctly.

Note on AMS and Repeat Single Track

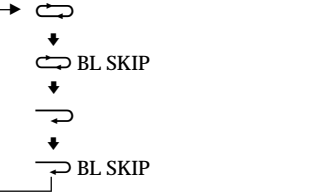
- The AMS and the Repeat Single Track functions detect a blank of 4 seconds or longer between the tracks, these functions may not recognize the blank and may not operate. Likewise, if there is a low-level segment within a track, these functions may recognize it as a blank space.

Using Other Functions

Adjusting playback mode

You can adjust the playback direction mode (◀▶ or ▶) as well as the BL SKIP mode (on or off).

- Press MODE repeatedly. With each press the indications change as follows:



- When “BL SKIP” is displayed, the tape is fast-forwarded to the next track if there is a blank space of longer than 12 seconds. You will hear repeated sets of three short beeps when skipping a blank.
- When “◀▶” is displayed , both sides of the tape is played repeatedly.
- When “▶” is displayed, both sides of the tape is played once (if you start from side B, only side B will be played).

Notes

- You cannot adjust the playback mode during fast-forward or rewind.
- The setting is stored as long as the battery is not replaced.

Note on BL SKIP	
• The BL SKIP function detects a blank of 12 seconds or longer. If there is noise between the tracks, these functions may not recognize the blank and may not operate. Likewise, if there is a low-level segment within a track, these functions may recognize it as a blank space.	

Playing a tape recorded with the Dolby* B NR system

Hold down SOUND until “□”

appears in the display. To cancel Dolby B NR, hold down SOUND again until “□” disappears.

- Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation. “DOLBY” and the double-D symbol □ are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

Notes

- You cannot turn on/off the Dolby B NR function during fast-forward or rewind.
- The setting is stored as long as the battery is not replaced.

Emphasizing Sound

- Press SOUND repeatedly. With each press, the indications change as follows:

RV (Sound Revitalizer): emphasizes treble sound

MB (Mega Bass): emphasizes bass sound (moderate effect)

GRV (Groove): emphasizes bass sound (strong effect)

none: normal (no effect)

Notes

- If the sound becomes distorted in the GRV mode, limit the volume on the main unit by setting the VOL switch on the main unit to NORM or AVLS MIN, or select a different sound mode.
- You cannot change the mode during fast-forward or rewind.
- The setting is stored as long as the battery is not replaced.

Protecting Your Hearing — AVLS (Automatic Volume Limiter System)

- Set the VOL switch on the main unit to AVLS MIN.

To cancel the AVLS function
Set the VOL switch on the main unit to NORM or MAX.

Locking the controls — HOLD function

On the remote control, slide the HOLD switch in the direction of the arrow to lock the controls.

On the main unit, slide the OPEN/HOLD/OPERATION switch so that “HOLD” becomes visible and the operation button hidden.